

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
都田	17	基盤整備	R5.3.31
都田	17	農業用水	R5.3.31
都田	17	平らな地域、水田	R5.3.31
都田	17	新東名、サービスエリア	R5.3.31
都田	17	若手、新規就農者	R5.3.31
都田	17	後継者問題	R5.3.31
都田	17	フルーツパーク	R5.3.31
都田	17	みかん、ブルーベリー、ブドウ、柿	R5.3.31
都田	17	耕作放棄地	R5.3.31
都田	17	傾斜地、果樹栽培	R5.3.31
都田	17	ブランドの確立	R5.3.31
都田	17	圃場整備、大型機械の導入	R5.3.31
都田	17	都田川	R5.3.31
都田	17	施設園芸	R5.3.31
都田	17	鳥獣害	R5.3.31
都田	17	宅地が増えているエリア	R5.3.31
都田	17	農地が固まっているエリア	R5.3.31
都田	17	傾斜地など耕作が難しい土地は農地以外の活用を考えてもいいのでは	R5.3.31
都田	17	農地になっていない樹園地が地図に表示されていない	R5.3.31
都田	17	市街地方面が厳しい	R5.3.31
都田	17	山林エリアなどまとまって農地があるところは継続できそう	R5.3.31
都田	17	台地は市街化が進み、住宅と農地が混在している。ハウス等施設栽培向きでは	R5.3.31
都田	17	第二東名サービスエリアや第三都田周辺は開発傾向にある	R5.3.31
都田	17	後継者問題	R5.3.31
都田	17	ハイノキ地区ではブルーベリー農家が増えている	R5.3.31
都田	17	水田については心配ない(大学前の整備が必要)	R5.3.31
都田	17	農業が継続できそうなエリアが多く、遊休農地(耕作放棄地)の心配は少ない	R5.3.31
都田	17	都田川付近がまだ農業を行えそう	R5.3.31
都田	17	滝沢付近は条件がいいところは樹園地として残るが山林化する畑もある。	R5.3.31
都田	17	滝沢の奥の方は後継者がいない。	R5.3.31
都田	17	山間地が多く、農地外が多い	R5.3.31
都田	17	地域によって耕作地(果樹)盛ん	R5.3.31
都田	17	北部方面では中山間、後継者問題により継続は難しいが、一部経営拡大による継続が可能。	R5.3.31
都田	17	第三都田周辺は農業用水も整備されており継続は可能。	R5.3.31
都田	17	場所の良いところは耕作している	R5.3.31
都田	17	鳥、イノシシ、シカの被害があるところは対策が必要	R5.3.31
都田	17	台地の方は工場ができています	R5.3.31
都田	17	新規就農者が増えている(果樹)	R5.3.31
都田	17	農業者は、農産物に希望価格を付けられないが、生産コストは年々増加傾向にある	R4.3.31
都田	17	農地と、住宅、工場との混在があり効率化が難しい。また、作業時間の制限や住民とのトラブルも発生する。	R4.3.31
都田	17	行政からのサポートしてほしい。	R4.3.31
都田	17	大口法人だけが今後の農業を支えるばかりではない。地元の声を聞き入れてほしい。	R4.3.31
都田	17	チンゲンサイ生産者で規模拡大の意向がある。	R4.3.31
都田	17	宅地、工業用地、農地が混在しており農作業がしにくい状況が増えている。	R4.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
都田	17	農地の購入が厳しくなっている。(坪単価の上昇)	R4.3.31
都田	17	馬鈴薯生産者で規模拡大の意向がある。	R4.3.31
都田	17	宅地、工業用地、農地が混在しており年々農作業がしにくい環境となっている。	R4.3.31
都田	17	葉ねぎ生産者で規模拡大の意向がある。	R4.3.31
都田	17	隣接の耕作放棄地から害虫被害がある。行政から指導してほしい。	R4.3.31
都田	17	農地と宅地が混在していて営農がやりにくい。	R4.3.31
都田	17	従事者の高齢化が進み主力は60～70代で中には80代でも頑張っている。	R4.3.31
都田	17	大部分は後継者がいないか、後継者がいても農業をやらない世帯である。	R4.3.31
都田	17	現在農地中間管理事業により担い手の農地集積を行っているが担い手が少ない。	R4.3.31
都田	17	10年先に不安を感じる。	R4.3.31
都田	17	園内道の整備を行うため、戦略畑総に代わる事業はないか。	R4.3.31
都田	17	耕作放棄地が増え、改良区の受益地から抜きたい要望が増えている。	R4.3.31
都田	17	都田地区に付しましては、大平の圃場が施設栽培や露地栽培がメインのため、現在実施中の国営ニカラ原水一筋事業により農業用水の利用に制限がある中大変苦慮されていると思っておりますが、農家の皆様のご協力により事業が進められていることに感謝しております。	R4.3.31
都田	17	規模を拡大したいと考えている担い手が、それなりにいて、実際に集積が進んでいる地域もある	R2.12.21
都田	17	滝沢町などの中山間地は担い手探しが難しい	R2.12.21
都田	17	ニーズのマッチングが、うまくいくようにするにはどうしたらいいのか	R2.12.21
都田	17	法人・新規就農が多い→頑張っている	R2.12.21
都田	17	担い手ではない畑作が多い→増やすべき	R2.12.21
都田	17	放棄地があまり多くない	R2.12.21
都田	17	後継者がいる農家が多い→ある程度の覚悟が必要	R2.12.21
都田	17	山間地はどう集積していくか	R2.12.21
都田	17	中口農家の大口化	R2.12.21
都田	17	すっぽり抜けている世代がある(50・60代)	R2.12.21
都田	17	機械化できない畑をどう集積していくか	R2.12.21
都田	17	工場進出が多い→環境が悪くなってやめてしまう農家が増えた	R2.12.21
都田	17	台地の部分は、工場進出を進めるのか、農地を守るのか	R2.12.21
都田	17	経営展望の現状維持が多い。今後、5年・10年後はどうなるのか？	R2.12.21
都田	17	担い手を増やす方法を考える時	R2.12.21
都田	17	大口農家を増やす？中口農家の大口化	R2.12.21
都田	17	都田の農地を探している人が多い	R2.12.21
都田	17	集積が進んでいる地域もある	R2.12.21
都田	17	マッチングがうまくいかない	R2.12.21
都田	17	担い手ではない畑が多い	R2.12.21
都田	17	放棄地は、それほど多くない	R2.12.21
都田	17	水田15名、以外と少ない	R2.12.21
都田	17	滝沢地区、耕作しにくい、面積が小さい	R2.12.21
都田	17	後継者がいる→95%、以外に多い	R2.12.21
都田	17	水田15名→以外と少ない	R2.12.21
都田	17	耕作放棄地が以外に少ない	R2.12.21
都田	17	滝沢地区は区画整理がされていなくて、耕作しづらそう、かつ面積が小さい	R2.12.21
都田	17	後継者がいる→95%、以外に多い95%、以外に多かつた	R2.12.21
都田	17	「中口農家の大口化」は賛成	R2.12.21
都田	17	滝沢町などの中山間地の担い手探しは難しい	R2.12.21
都田	17	担い手の農地が思ったより少ない	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
都田	17	新規就農が多い？	R2.12.21
都田	17	農業構成員＝中間が抜けている年代がある	R2.12.21
都田	17	開拓者の二代目は、ほとんど農業をやっていない	R2.12.21
都田	17	覚悟のある人を入れる	R2.12.21
都田	17	山間地ほど耕作放棄地が多い	R2.12.21
都田	17	思っていたほど放棄地は多くない	R2.12.21
都田	17	新農業就農者が頑張っている	R2.12.21
都田	17	後継者が以外に多かった。	R2.12.21
都田	17	大口農家を増やす	R2.12.21
都田	17	現状維持が多い	R2.12.21
都田	17	集約集積が進んでいる(拡大)	R2.12.21
都田	17	放棄地が少ない	R2.12.21
都田	17	法人が多い	R2.12.21
都田	17	山間地の畑が、山林化している所があると思う	R2.12.21
都田	17	今後、農業を続けていけるかどうか心配な所がある	R2.12.21
都田	17	山間地の農業が、10年後はどうなるか	R2.12.21
都田	17	後継者のいない農家が多い	R2.12.21
都田	17	担い手の耕作地が少し多くても良いのではないか	R2.12.21
都田	17	その他の農地か	R2.12.21
都田	17	基盤整備が必要と感じた	R2.12.21
都田	17	鳥獣害対策	R2.12.21
都田	17	放棄地・担い手の管理している団地が正しく把握できていないのでは？	R2.12.21
都田	17	後継者が多い→本当か？	R2.12.21
都田	17	想像以上に臨時雇用が多い	R2.12.21
都田	17	労働力の確保が課題か	R2.12.21
都田	17	経営(に)課題ないと回答している人が2割もいてビックリ	R2.12.21
都田	17	滝沢は中山間になってないのはおかしい	R2.12.21
都田	17	1億以上が思ったより多かった	R2.12.21
都田	17	地図上では思ったほど放棄地が多くない	R2.12.21
都田	17	担い手ではない畑が多いと思った	R2.12.21
都田	17	法人が多いと思った	R2.12.21
都田	17	新規就農が多い	R2.12.21
都田	17	山間地は耕作が難しい	R2.12.21
都田	17	有害鳥獣対策	R2.12.21
都田	17	面的拡大	R2.12.21
都田	17	若手担い手不足→地域性有	R2.12.21
都田	17	耕作放棄地増	R2.12.21
都田	17	雇用により担い手を確保	R2.12.21
都田	17	耕作地が減少(転用などにより)	R2.12.21
都田	17	山間地においても耕作者はいる	R2.12.21
都田	17	農業は成長産業	R2.12.21
都田	17	耕作しやすい農地は借り手がいる	R2.12.21
都田	17	新規就農者の途中リタイヤ	R2.12.21
都田	17	耕作者、農業者の意見を吸い上げ	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
都田	17	基盤整備、インフラ整備	R2.12.21
都田	17	農地銀行の活用	R2.12.21
都田	17	耕作地集約、拡大	R2.12.21
都田	17	耕作放棄されている農地があっても借りられない(借りてもらえない)	R2.12.21
都田	17	山間部にある農地は条件不利地が多く、作物を栽培する状態にない。	R3.1.8
都田	17	高齢化で農業者がますます減少し、耕作放棄地が増えていくが仕方のないことだと思う。	R3.1.8
都田	17	小規模農家を大切にしないと荒地は増える	R3.1.8
都田	17	農業者を増やす対策をしっかりやってほしい。	R3.1.8
都田	17	農業委員会と認定農業者(担い手)を中心にした地域単位の活動ができる組織体制と地域リーダーが必要	R3.1.8
都田	17	地域で話し合える環境を醸成し、活動が無理なく長続きできることが大切だと思う。	R3.1.8
都田	17	耕作放棄地があれば蜜花粉源植物を植えたい。	R3.1.8
都田	17	養蜂箱を置ける場所の情報があれば知りたい。	R3.1.8
都田	17	農薬によるみつばちの被害はある程度は仕方ないと思っているが、農薬散布日が事前にわかっていると対策が打てる。	R3.1.8
都田	17	ほ場の集積を課題として取り組んでいます。規模拡大にもつながるのでご支援いただければ幸いです。	R3.1.25
都田	17	用排水路の整備もお願いできればと思います。	R3.1.25
都田	17	高収益作物として飲食店向けに販売できる葉物野菜や果物を少量多品種にて栽培していきたいと考えている。既存施設を利用してハウスでの栽培をしたい。支援いただければ助かります。	R3.1.25
都田	17	現在は70歳代1名、80歳代2名で耕作しているが、収支が厳しい。若手を入れて多くの野菜などを栽培したいと考えている。	R3.1.25
都田	17	滝沢地区で営農をしている。獣害が増えているので、防護柵を立て罾猟資格を取ろうと考えている。捕獲の報奨金を猟友会以外にも広げてほしい。	R3.1.29
都田	17	畑までの道沿いの木の管理(官地、民地共)をしてほしい。現状トンネル状になっていて、災害時に倒れるとあらゆる復興対策が遅れそう。	R3.1.29
都田	17	谷地が多いので畑地の集積、造成してほしい。	R3.1.29
都田	17	側溝などの排水設備がない道路も多いので、端部も崩れ始めているところも多いので対応してほしい。	R3.1.29
都田	17	かん水設備のない畑(約5反)があり苦勞しています。整備してもらえるなら耕作放棄地は減ると思う。	R3.1.29